

伊丹市文化財ボランティアの会 火曜会通信

第66号

発行日 : 平成27年 8月 1日
発行 : 伊丹市文化財ボランティアの会
発行所 : 伊丹市千僧1丁目1番地
伊丹市教育委員会事務局内

大鹿地区の歴史を知ろう 市内文化財めぐり歴史ウォーキング

連休明けの5月9日(土)、久しぶりの市民ガイド。空模様を気にしながら博物館前に集合、大鹿地区に向かう。一般参加者8名、会員24名、当日は他の行事と重なったのか、一般参加者が少なかったのが残念だった。

まず西国街道を東に向かい、梶井基次郎の文学碑を訪れた。三好達治に宛てた手紙によると、昭和の初め頃の千僧付近の景色は今では想像もできないほど広がりがあり、大阪方面も見渡せたようです。

西国街道が有馬道と交差する地点に、檜の香る立派な大鹿センターがあります。センターの建物は、兵庫県産の木材を使用することにより県の助成を受けています。ここで大鹿の歴史について説明があり、その後どんぐり座の皆さんの紙芝居「大鹿の雨乞い」の上演がありました。どうもご苦労様でした。

御塚(経塚)、「大覚さん」と呼ばれる小さなお堂の説明を受け、大鹿村の人々が覚正を敬っていた様子が伺われました。覚正が京都より西への布教の途中、干ばつで苦しむ大鹿の村民に請われて雨請祈禱を行い、村民の願いに応えたことにより、大鹿村では全村挙げて真言宗から法華宗に改宗し

たと言われています。

妙宣寺が、地方では稀にみる立派な寺観を整えることになったのは、江戸時代の伊丹・大鹿の酒造業の隆盛が背景にあったと思われます。阪神淡路大震災の被災後も、檀家の復興活動により再建されました。お堂の中に入れていただきましたが、あまりの立派さに圧倒されました。



妙宣寺本堂で住職のお話を聞く

西皇大神社に保存されている「茶わん樋」に、どこの地でも苦労した水争い問題を解決した工夫を見ることが出来ました。

今回は普段あまり訪れないコースでした。大鹿センターで時間があれば地元との交流があってもよかったかな…。 <内田 記>

※ 次回歴史ウォーキング案内

国史跡 伊丹廃寺を学ぼう 9月26日(土)実施
詳しくは9月1日付の市広報に掲載します

伊丹市文化財ボランティアの会では、旧岡田家・右橋家や郷町内・旧西国街道など、市内外から訪問される人たちに文化財のガイドを行っています。

市内の史跡・文化財のガイドについてのお問い合わせは、伊丹市社会教育課までお願いいたします。

(☎:072-784-8090)

寺内町・宿場町 小浜を巡る

木曜班 屋外研修

6月17日(水)梅雨の晴れ間、上出来のブラブラ日和に11名が参加しました。私にとって小浜宿は、清荒神にお参りするときの楽しみな通り道です。尼宝線で昔の有馬道北に突き当たり、環濠に架かる橋を渡って坂道を登ると、この寺内町にある三つ口の一つ、南門の愛宕宮です。この町は有馬道・京伏見街道・西宮街道の交差する街道として、また現在の宝塚の武庫川より東側を司る代官所もあり、商業と行政の中心として当時は大いに賑わったようです。



毫摂寺境内で説明

小浜宿の中心であった毫摂(ごうしょう)寺は中世の寺内町として城塞的な要素を持ち道路を当て曲げにして、自治都市を維持していた等、亀井さんの丁寧な説明を聞きました鄙びながらすっきりとした大きな本堂です。

毫摂寺の歴史の中で有馬の湯治への道すがら、この寺に寄った関白秀次に見初められた寺の娘亀姫の栄光と悲劇を想います。秀吉の我が子秀頼を思うが故の狂気のような心情により、秀次は自害させられ、それに繋がる多くの女性や子供とともに亀姫も小浜の局として殺害され、寺も焼かれます。涼やかな木陰で本堂を眺めながら、遠い歴史が身近に感じられ、そして私達もまた歴史の中に入っていくのですね。

町の中ほどの資料館や当て曲げの道を体

験し、次はこの町で一番好きな、小浜と米谷の間に架かる国府橋から見る、深山幽谷のような大堀川の景色です。今日は橋を渡らず、手前の細い道を川へと下ります。いわし坂なんて良い名前がついています。宿は栄えていたとはいえ、西宮浜で獲れるイワシがお膳を飾る庶民の質素な生活が窺えます。

さて坂を下り小さな橋を渡り登っていくと、米谷の大庄屋だった旧和田家です。古結さんの交渉力により、食事中の管理人さんに室内を案内して頂きます。座敷の中の高い敷居も珍しく、昔は中山の近くまで土地を所有していたが、何代目かが相場で失敗して大半を失ったとかよくある話を聞いていると、震災までこの家に住んでおられた和田家の奥さんがいらした。和田家を維持していたときの苦労とか、広い家から今お住まいの家の狭さなど、主婦らしい悩みに共感しながら、裏庭から眺める宝塚・逆瀬の山並みを楽しみました。

<中山 記>

惣構え巡りで伊丹をアピール

第4回阪急・阪神沿線観光あるき

第2、3回と雨に祟られた観光あるき、4回目の5月23日(日)は照らず降らずのガイド日和に恵まれました。参加者53名のうち伊丹市内からはわずか3名、あとは近隣市外からの参加です。二班に分かれ各班会員3名が引率、阪急伊丹駅を出発しました。

伊丹小学校といたみホールとの段差が惣構えラインですと説明、猪名野神社からは緑道への道を経て神社東側の崖下を通り、産業道路を地下道で横断します。多田街道と池田道の分岐のお地蔵さんの前でガイドのあと北ノ口に戻り、公園から急峻な周辺地形を見渡しました。殆どの方は伊丹市内にこんな崖地があることをご存じなかったようでした

本日参加の皆さんには熱心に説明を聞いて頂き、歩行時も多人数にもかかわらずまとまって移動することができました。



多田街道分岐の地蔵前で

有岡城跡から荒村寺・本泉寺・墨染寺・三軒寺広場を巡って岡田家に到着。ここで二班が合流、土曜班担当のガイド2グループがあり、また酒蔵では文化財愛護少年団の結団式があって岡田家は大賑わい。賑いのうちに平成26年度の阪急・阪神沿線観光あるきは無事終了しました。 <松田 記>



小さなお客さんを案内

笹原小学校3年生有岡城跡へ

6月3日(水)笹原小学校3年生163名が校外学習・市内巡りとして有岡城跡へ見学に来ました。天候が心配でしたが集合時間の10時半頃には雨は止み、石垣の前に整列、しゃがんで話を聞きました。



村重のボードを掲げて

子供が対象なので視覚に訴える、分かりやすい言葉で説明するように準備をしました。パネルや大道具・小道具・茶道具、村重が刀を捨て茶人になったことを表わすものを駆使

しました。大型パネルは有岡城惣構えの色分け図、摂津国の地図。鎧を着け烏帽子を被せ、刀を添えた村重の像は「まちづくりプラザ」から借り受けたもので、段ボールに黒ニスを塗り、抱き牡丹の家紋入りの手作りには見えない逸品。もうせんに銘荒木写しの抹茶碗、茶筌、茶杓を並べました。大きい文字と振り仮名付きの村重と信長のボード。説明の中で人物が登場する度に見やすいように、そのボードを高く揚げました。

子供たちからの質問・・・ ① 37万石の“石”って何ですか？ ②石垣周りの木は当時からある木ですか？

私達にとっても貴重な体験ができた楽しい半日でした。 <富永 記>



新会員歓迎の研修と懇談

水曜班

5月27日(水)、鮮やかな新緑に夏の日差しが照りつける猪名野神社の境内で、水曜班の13名が、やる気満々の新会員門田さんを迎え研修を行った。

はじめに、経験豊かな山元さんが、猪名野神社のガイドのお手本を示してくださった。みんなは、説明の順序や内容を心に留めながら、真剣なまなざしで聞き入った。①本殿 ②野宮 ③岸の砦 ④石灯籠 ⑤神幸絵巻 ⑥ムクロジ ⑦鬼貫の句碑 ⑧境内社の順に、30分にわたって詳しく説明された。実際にガイドをする時は、「時間の短縮や内容を考えて説明すればよい」と締めくくられた。

質疑応答では、本殿の屋根は妻入りと平入りがあり、猪名野神社は妻入りであること、向唐破風付を写真で確かめながらの説明、石灯籠の向きが決められていることなどを聞き、より知識が深まった。

約1時間の研修後、近くの昼食会場へ。歓迎を込めた乾杯の一杯に、ほっと一息つく。みんなが一言ずつ自己紹介をした後、門田

さんから、今までの経歴や15年間の台湾の生活などを聞き、中国語の自己紹介で会が盛り上がった。

最後に、3月予定の市民ガイドに向けて、コースの決定や文化財の下見、ガイド内容等を研修することを確認した。 <中尾 記>

.....

NHK「旅するラジオ」に出演

池田会長 口酒井遺跡をガイド

7月7日(火)12:30より、NHK「旅するラジオ」の生放送の収録がスカイパークでありました。市からの依頼でボランティアの会から池田会長・どんぐり座細川座長が出演、短い持ち時間内で口酒井遺跡をガイドしました。



出演者一同の記念撮影

.....

ことば蔵で紙芝居 どんぐり座

夏休みに入った7月24日(金)、ことば蔵1階ホールで朝のラジオ体操に続いてどんぐり座が紙芝居、ペープサート計3本を上演、これを楽しみにしていたおよそ100名の子供たちと保護者が鑑賞しました。



健康の常識 ウソ?ホント

<研究発表>

竹中 稔

低血圧の人は高血圧にならない? ×

血圧は日々変動しており、男女とも加齢によって次第に上昇していきます。高齢になると太りがちになったり、塩分の過剰摂取・喫煙・ストレスといった高血圧の要因が増えてしまうことが理由です。従って低血圧の人も高血圧になります。

痩せている人よりチョイ太が長生き? ○

厚生労働省の研究班の調査によると、男女ともBMIが25以上30未満というチョイ太の人たちの平均寿命が最も長かったという結果がわかってきました。一方最も短命だったのは痩せている人たちで、その差は6~7年に及びました。

カロリー制限は痩せられる? △

運動をしなくても使うエネルギーである基礎代謝量と、運動して使うエネルギーを足したものを消費エネルギーと言い、食事等からの摂取カロリーが消費カロリーを越えなければ体重は減って行きます。食事(カロリー)の量を制限すれば痩せざるを得ません。しかし肉などの蛋白質を取らない場合、筋肉が落ちて基礎代謝量が低下し、痩せにくい体になってしまいます。



食事後ゴロ寝するのはよくない? ×

食後横になると牛になると親からよく言われたものですが、医学的にはOKです。食物を消化するとき胃や大腸、肝臓に大量の血液を必要とし、食後すぐ動くとも血液が分散してしまうため、食後30分~1時間は体を休める必要があります。

風邪のとき、入浴はダメ? ×

風邪のときは、カラスの行水が効果的。熱すぎない湯にサッと入って、汗をよく拭いてから衣類

を着ましょう。体力の消耗と風呂上がりの湯冷めに留意することが大事です。

血圧が高いほど脳卒中の発症率が高い？ ○

国内外の調査によると、血圧が高いほど脳卒中の発症率が高くなると言われています。最高血圧が10mmHg 上昇すれば男性で約20%、女性で約15%、死亡の危険度が高まります。

汗をかくと熱は下がる？ ×

汗が蒸発するとき気化熱が発生して皮膚表面の体温が奪われ、体温が下がります。熱が出始めるときに悪寒を感じれば、身体を温めることが大事。必要以上の発汗は脱水状態を招き、かえって風邪を長引かせることになります。

マスクで風邪は予防できる？ △

マスクには、呼吸のため無数の穴が開いており、完全な予防は出来ません。しかし咳をしたとき秒速10m の早さでマスクの外に飛び出し、まき散らすウイルスを抑制する効果は期待できます。



市販の風邪薬で風邪は治る？ ×

風邪の約90%はウイルスが原因で発症しこのウイルスは約200～300種類もあり、それらのすべてに効果のある薬はありません。風邪のウイルスを退治するには体内に持っている免疫に頼るしかなく、十分な休養と栄養を補給するしかありません。

うがいには水より塩水やうがい薬が効果的？ ×

塩水にはウイルスを死滅させる効果はありません。喉についたウイルスや細菌を洗いがすのは水道水で十分で、風邪の発症率はうがいをしないときに比べて約40%も低下します。

運動をすると風邪を引きにくくなる？ ○

アメリカの研究によると、ウォーキングなどの有酸素運動を週に5日以上行ったグループは、殆ど運動をしないグループに比べて過

去12週間に風邪を引いた日数が約43%減少したとのこと。運動をして高い健康意識を持った方が風邪にかかりにくい。

ジェネリック医薬品の効果は同じ？ ×

特許権の有効期間が過ぎて消滅した医薬品については、製薬会社は特許料を支払わずに自由に製造(ジェネリック医薬品)でき、安価に入手できます。

ただし成分が同じでも製造工程やコーティングの材料が微妙に異なり、効き目は変わってきます。



お茶で薬を飲んでもいい？ ○

血液に用いる鉄剤や薬をお茶で飲んでも差し支えありません。一般の風邪薬、頭痛薬ならコーヒーや牛乳、ジュースで飲んでも効果が変わることはありません。量は湯飲み茶わん一杯程がよいでしょう。

笑うと免疫力はアップする？ ○

悪い細菌と戦い、病気を予防して体を守っているのが免疫細胞と言います。免疫細胞を活性化するためには笑うことが一番であることは研究によって明らかになっています。笑うことによって自律神経の中で副交感神経が優位になるからです。

肉食は老化を進めるって本当？ ×

食べ過ぎなければ、肉が老化を進めることはありません。肉に含まれるたんぱく質・脂質糖質・ビタミン・ミネラルなどの栄養素をバランスよく食べることが長寿には必要です。

歳を取ると脳細胞が減少する？ ×

細胞は1日に10万個ずつ減っていくと言われていますが、根拠は不明です。加齢によって脳細胞が失われるとしてもごく一部に過ぎません。歳を取ると物忘れがひどくなるのは、脳細胞の間を行き交う信号のスピードが落ちるからです。いろんなことに挑戦したり、感動したりして、常に脳を刺激しておくことが認知症予防になります。

<以上>

[町の小さな文化財 第6回]

市役所北広場の水門

市役所北側(国道171号線側)広場はクスノキが茂り、石造りのモニュメントや噴水があって、ゆったりとした景観を形成している。

その広場の東側にひっそりと2基の電動式水門があるのを御存じですか。周囲の様子と場違いで、なぜこんなところに水門があるのかと、最初私は奇異に感じた。周囲を探してみると、国道向かい浄水場東側の水路が国道171号線を暗渠で横断、広場を通過して左に折れ博物館東側の今池につながっている

暗渠は今池埋立て時に、灌漑用に残された現在の今池への排水を確保するために設置されたのだろう。水門は暗渠内で分岐している灌漑用水路への送水調整のために設けられたらしい。しかし水門が設置されてから既に四十余年、この間、周囲の宅地化が進み、灌漑用水の需要も減少したので役割を終え、市役所に聞くと現在、水門は稼働していないとのこと。



市役所北広場の水門

千僧土地改良区が昭和44年に千僧公民館・天神社・安楽院・西善寺の4か所に建てた同じ文面の記念碑がある。

“水鳥の羽音高く今池は消ゆ”として、同改良区が今池の1万1千坪を4億5千万円で市に譲渡割愛し、その一部を上記4カ所に寄附したことをしている。 <松田 記>

思い出の世界遺産 (12)

「メキシコ」の巻 山内 富美子

メキシコ首都のメキシコ・シティは標高が2240mという高原地帯にあるので、とても気候は温暖です。緯度は日本よりずっと南なので、メキシコは暑い国だと勝手にイメージをしていました。しかし首都は最高気温でも30度を超えることはあまりないし、最低気温でも5度以下になることはほとんどないようで、年間通じて温暖な気候です。

メキシコ・シティにある国立人類学博物館は、世界でも有数の規模と内容を誇る大博物館で、メキシコ古代文明の集大成というべきものです。マヤやアステカそしてテオティワカンなどの遺跡からの、えりすぐった発掘品が展示されています。後に訪れる世界遺産に指定の遺跡にはレプリカが置いてあり、本物はすべて国立人類学博物館に集められて展示されています。メキシコ国内から出土した文化財、およそ6000点が展示されている宝物の宝庫です。現地のガイドさんが主な展示品を案内して説明してくれ、マヤ・アステカ・テオティワカンの文明の歴史と文化を深く知ることができました。

この博物館の最大の見どころは太陽の石でアステカのカレンダーです。太陽の石は、直径3.6mの丸い巨大な石にアステカの暦を



太陽の石

図形化して彫り込まれています。太陽神の周りに、複雑な細かいモチーフが幾重にも巡らされ、永遠の時を刻む象徴的な記念碑です。単に月日を刻むだけでなく、アステカ人の神秘的な宇宙観を表現しているといわれています。

マヤ室には、パレンケ王の墓が実物大で復元され、埋葬品もあり、とくに王の顔のヒスイの仮面は見事でした。緑色のヒスイの仮面

は色鮮やかで、身につけている耳飾り・首飾り・襟飾りの装飾品と共に、その鮮やかさが今でも目に焼き付いています

次の世界遺産は、メキシコ国立自治大学の中にある世界最大規模の壁画です。シケイロスの立体壁画、「民衆から大学へ、大学から民衆へ」という作品が図



書館の壁に掲げられています。ヒスイの仮面色鮮やかな立体壁画です。

メキシコ・シティから50km北にあるテオティワカン遺跡は、ラテンアメリカ最大の都市遺跡で、紀元前2世紀頃に建設された巨大なピラミッド都市です。高さ65m、周囲900mもある巨大な神殿、「太陽のピラミッド」は急な高い階段を284段昇ると頂上に着きます。元気な人はかなり大勢昇っていましたが、急な雨のため、私は眺める側にまわりました。その他、高さ45mの「月のピラミッド」や「ジャガーの宮殿」・「神殿」・「城壁」などがあり、中央には南北を貫く、3.3kmの「死者の道」と呼ばれる道路が通っています。この巨大なピラミッド都市を築いたのはテオティワカン人といわれていますが、彼らがどこから来たのか、そして8世紀頃の謎の滅亡とともに、どこに消えてしまったのか今もわかりません。彼らはメキシコ盆地を中心に350年から650年の間に繁栄の頂点に達していて、8世紀頃いなくなりました。その後、盆地に放置されていたテオティワカンを訪れたアステカ人たちは荘厳なピラミッド群を見て、「これこそ神々が建てた都市だ」と信じたのです。それでテオティワカンとは、「神々の都市」という意味があるのです。

メキシコ・シティから120km東にあるプエブラという街の旧市街が世界遺産で、そこへは3000m以上の高い峠を越えて行くのですが、高さは余り感じられず、寒さを感じました。プエブラは、タラベラ焼きというお皿など焼き物が有名な所です。プエブラ大聖堂、カテドラ

ル、黄金の内装のサントドミンゴ教会などが見どころです。またプエブラからの帰途、ポポカテペトル山腹に世界遺産の14の修道院があり、そのカテドラルに寄りました。アメリカ大陸最古の教会の1つで、聖堂の内壁に豊臣秀吉によって処刑された日本26聖人を題材にした殉教壁画も描かれています。

州都のメリダから南へ80kmのところに、マヤ文明を代表するウシュマル遺跡があります。7世紀頃に建てられ始め、ウシュマルの各神殿には、「カギ鼻の神様」の像など神々の像で飾り立てられています。遺跡内の「魔法使いのピラミッド」は、高さ38mの巨大な建物で、小人が一夜で造り上げたという伝説から「魔法使い」の名がついています。実際には8世紀から11世紀まで、300年の間に造られたものです。また、尼僧院にはマヤアーチ・蛇神・雨の神などのおびただしい装飾が施されています。鳩の家や亀の家の入っているグラン・ピラミッドは、高さが30mの大神殿で、頂上まで昇ると周りは緑一色で、大森林の中に遺跡のみが存在していることがわかりました。

最後に、「蛇のピラミッド」と呼ばれている「チチェン・イツァー遺跡」に触れていきます。チチェン・イツァーは、200年以上にわたってユカタン半島での芸術・宗教・経済の中心地でした。チチェン・イツァーとは、“泉のほとり”のイツァー人という意味です。遺跡の中心で「城」を意味する「エルカステイジョ」と呼ばれている大神殿のピラミッドには、東西南北四面すべてに階段があります。北側階段の蛇頭ククルカン(羽毛の蛇)をしつらえた側面には年2回、春分と秋分の日には羽が影となって映し出される仕掛けとなっています。太陽の傾きによって変化する影は、あたかも蛇が動いているかのように見えるのです。このククルカン神殿の他に戦士の神殿・ジャガーの神殿・頭蓋骨の城・球技場・天文台・尼僧院・高僧の墳墓・聖なる泉などの建物が、とても広

い遺跡の中に存在しています。世界遺産チチェン・イツァー遺跡の中の、通称「蛇のピラミッド」こと、「気高い城をイメージさせる大神殿・エルカステージョ(ククルカン神殿)」の映像が世界中に紹介され、とても有名になったので、世界中からの観光客が大勢押し寄せてきています。そのためかもしれませんが、現在はピラミッドの大神殿の上に昇ることはできませんし、神殿の内部を見ることもできません。



蛇のピラミッド

他の遺跡で、ピラミッドの頂上まで昇ったり、神殿の内部を見学するなどの体験をしてきて良かったと思います。

メキシコ国内の世界遺産は、2014年8月現在では32か所あり、南北アメリカ大陸では最多を誇っています。そのうち今回は10か所を訪れてきました。 <以 上>

<行基会資料 3>

行基の活動基盤

1 思想形成の依拠

(1) 法相宗・瑜伽唯識論

『続日本紀』に行基が出家せしとき「瑜伽唯識(ゆがゆいしき)論を了解した」とある。瑜伽師地論では無量衆正を教化し、苦を寂滅することが強調され、大乘仏教にいう自利より他利を先とする菩薩行が重視される。この教えが行基の社会事業活動の思想的基盤となる。但しここで説かれる菩薩行は抽象的な観念論に近く、行基は具体的かつ実践的に社会事業を行い、これらの菩薩行は「福田行」の中にみることができる。

法相宗はインド大乘仏教の二大流派の1つで、瑜伽派・唯識派と呼ばれている。瑜伽はユガの音写で座禅を意味し、座禅修行の中で体得される教義を意味する。

法相宗の宗名は諸法(一切万有)の性(真如)と相(現象)を決択分別して、諸法の相である現象を詳説する教学の特徴に由来する。経典は「解深密教」で唯識宗ともいわれる。唯識とは唯識(心)のみということで、我々は主観に対し客観的世界を前提と考えているが、 (次頁へ続く→)



[ガイド豆知識 第4回]

薬医門

薬医門は寺院の門形式の一つです。薬医門の基本構造として外側(本柱)に2本、内側(控柱)に2本の4本の柱で切妻屋根を支えます。



特徴は屋根の中心の棟を外側に寄せていることでしたがって外側の2本柱が内側の柱より大

きな荷重を支えているので、太い柱を用いています。薬医門の名称起源について諸説が



金剛院の薬医門

安楽院、三軒寺の法厳寺・正善寺・大蓮寺など、薬医門形式が多く見受けられます。

<松田 記>

ありますが、定かではありません。伊丹市内では金剛院、千僧の

唯識の思想では客観的世界と見られている世界も実は我々の最も奥深い識（阿頼耶識）の発現に他ならないと考える。自分自身を展開すべき可能性・種子（しゅうじ）から人間世界のすべてが展開されると考える。



法相宗では心に8種類の働きがあると考える。表面的な6識（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚、意識）の他に深層意識として第7末那識（自我執着心）第8阿頼耶識（根本心）の2識を立てる。第8阿頼耶識は前世の業の結果引き起こされる輪廻の根本をなす識の働きで、あらゆる現象を生じ、また自己の肉体や心の働きを生ずる根本をなしている。この根本的な働きを種子といい、生じる現象・自己を現行（げんぎょう）という。このように作り出された現実の現象・自己は百の要素からなり、百の要素を5つのグループ（五位百法）に分け現実のあり方を詳細に検討される。そこで法相＝あらゆる現象を研究する宗と名付ける。

(2)福田行

福田行は幸福を生み出す田の意味で田畑を耕作して農産物が取れるように布施する物品を種子に、布施を受ける者を良田に例える。インドでは紀元前2～3世紀にできた『摩訶祇律（まかぎりつ）』に、「広い道の枠に立派な井戸を掘り、果樹を植えて果実を与えて、旅人に日陰を与え、橋を構え、船を設けて人びとを渡し、布施すれば将来天人の中に転生」とある。後に大乘仏教で福田行の果報は天界に生まれ変わるとされ、福田行は菩薩の行、悟りを得るための行となる。

「諸福田教」には7つの福田があげられ、「梵網(ぼんもう)教」には8つの福田が掲

げられ13の福田がみられる。すなわち①井戸を掘る ②果実を植える ③樹林を作る ④橋を架ける ⑤船を造る ⑥浴室を作る ⑦仏像や僧房を作る ⑧宿舎を建てる ⑨道路を開く ⑩飢えた者に食事を与える ⑪病人に医薬を施す ⑫公衆廁を設ける ⑬水路を開く、まさに行基の実践活動そのものである。

(3)三階教

中国の僧信行は6世紀に三階教を開き「山林に扶黙するは乃ちこれ一途の独善なり。独りその身を善くする所のあらざるなり」と山林修行を否定し、集落に活動の場を求めて、集落に在って集落に住む同胞の力を借りて活動を展開することの必要性を説いている。

行基は修行中、道昭が唐より持ち帰った三階教典を目にして、10年余の山林修業を中断させることになったと考えられている。

わが国において三階教の根本的教籍『明三階仏法』二巻と『略明法界衆主根機淺深法』一巻が天平19年(747年)の『写疏所解』に初見され、この解は書写を目的として禅院寺から借用した原本の歴名を記したものである。この禅寺がこれまでの多くの研究により道昭の禅寺であったとされている。山林修行と併行して三蔵学習を続けていた行基が、これらの宗書を読閲したことは大いにあり得る。

(4)法相教学の師 道昭の影響

道昭は河内国丹比郡の渡来系船氏の出身白雉4年(653年)遣唐使に従い入唐し、玄奘三蔵に師事した。帰国後、飛鳥寺の東南隅に禅院を建て、天下の行業の徒が禅を学びに集まった。わが国法相宗の初伝とされている。『続日本紀』の道昭伝は「天下に周遊して、路傍に窄ち、諸の津の済の処に船を設け、橋を造る」と伝える。

『行基菩薩伝』によると行基は法興寺に住し、

法相大乘を学んだとあるが、道昭に学んだことは『菩薩伝』にも『行基年譜』にも記されていない。鎌倉時代の学僧で仏教史の多くの著述を残している凝念(然)は、『内典塵露章』などで義淵の高弟として行基菩薩、定昭など7人を挙げているが、晩年の三国仏法伝通縁起の法相宗の項で「道昭和尚は法を行基菩薩に授くるなり」と特に記している。一般的には次の諸説により両者の関係が肯定されている。

(1) 道昭(629～700年)は法興寺の禅院で禅定を教え、行基もこの後法興寺で学んでいる。行基が目にした三階教の經典等も道昭が唐より持ち帰ったものであろう。

(2) 道昭は各地を巡り井戸を掘り、橋を架けるなど社会事業(利他行)を行い、行基も同様の社会事業を行っている。双方とも教学より他利行実践が活動の中心であった。

(3) 両者とも百済系渡来氏族の出で、本拠も近く、祖先が蘇我氏に仕えた共通点もある。

2 実践活動の依拠

知識結 仏教徒は仏教信仰を基軸に知識結を作り、組織的な宗教活動を行った。具体的に財物の布施、労力の提供により活動に参画し、それを通じて仏に結縁し、写経や造寺に加え、仏教的実践の一環として水路開発や架橋等の社会事業を推進した。知識集団は官度、私度の指導的僧尼と在俗の信者で構成されていた。知識結は奈良時代に盛んに行われた民間仏教の展開の場となった。行基の社会事業も知識結を基盤に展開された。

聖武天皇が知識結により、大仏建立を成し遂げたことは周知のとおりである。

活動記録 (5月～7月)

定例会 ・5/12(火) ・6/9(火) ・7/14(火)

案内ガイド ・5/8(金)Cコース(街道の会 宇治市) ・Aコース(街道の会 宇治市) ・5/9(土)市民ガイド 大鹿地区 ・5/15(金)Fコース(昆陽双葉南自治会 伊丹市) ・5/19(火)岡田家(とよなか粋遊会 箕面市) ・5/20(水)有岡城跡(美尤婦人学級 神戸市) ・有岡城跡郷土館(いづみさき婦人学級 茨木市) ・5/22(金)Aコース(高橋亨 名古屋市) ・Aコース(大阪府高齢者大学歴史遺産 東大阪市) ・5/23(土)Aコース(大和会川西池田支部 豊能町) ・有岡城跡郷土館(史跡巡りハイキングの会 川西市) ・有岡城跡コース(阪急・阪神沿線観光あるき) ・5/24(日)A・Bコース(歴史グループ早雲 京都市) ・Bコース(散策の会 伊丹市) ・6/1(月)Bコース(新日本婦人の会宝塚支部 宝塚市) ・6/3(水)有岡城跡(笹原小 伊丹市) ・6/7(日)Aコース(伊丹小カマキリ学級 伊丹市) ・7/10(金)Aコース(トラベル日本ぶらり町さんぽ 大阪市) ・7/30(木)Aコース(伊丹市老人クラブ連合会 伊丹市)

屋外研修 ・6/17(水) 小浜を訪ねる

どんぐり座公演 ・5/9(土)大鹿センター ・7/6(月)

中央コミュニティセンター ・7/24(金)ことば蔵

歴史ロマン体験学習支援 ・5/16(土)土器をつくる

・6/6(土)印鑑をつくる ・7/4(土)器をつくる

有岡城跡の清掃 ・5/26(火) ・6/23(火) ・7/28(火)

今後の予定 (8月～10月)

定例会 ・8/11(火) ・9/8(火) ・10/13(火)

案内ガイド ・8/16(日)Bコース(伊丹市友会 伊丹)

歴史ロマン体験学習支援 ・8/1(土)石器づくり・9/5

(土)ろくろで器をつくろう ・10/24(土)野焼きをしよう土器をつくる

有岡城跡の清掃 ・8/25(火) ・9/22(火) ・10/27(火)

編集後記

台風が過ぎていよいよ梅雨明けかと思うとまた雨天気、関東北陸地方の連日の猛暑と比べてこちら近畿はそれほどでもなし。岡田家当番も夏休みに入りました。暑さの本番はいよいよこれから、皆さん熱中症対策に抜かりなく。(T M)